今年もマスクをつけながらの夏を迎えています。これはいつまで続くのでしょうか。私の家では、おばあちゃんが新型コロナウイルスのワクチンの集団接種を受けました。最初は予約の電話がなかなかつながらなくて、不安になったそうです。

　それでもなんとかつながり、接種日になりました。会場は近所だったので、歩いていきました。会場付近につくと、案内の係の人が誘導してくれました。

　会場は、大勢の人がたくさんいました。会場は本当は靴を履き替えるところなのですが、ブルーシートを床に敷いてくれたので履き替えることもなく、順番を示した案内板が大きく係の人がそれぞれの案内板のところに立っていて、丁寧に対応したので、心配することもなく接種が済み、家に帰ってきました。

　きっと担当の皆さんは、この摂取をするにあたって、計画を何回も立ててはやり直し、練習も何回もしたのでしょうね。この見えない敵との戦いは、私達高齢者には不安でしかありません。担当者の皆様のご尽力には頭が下がる思いです。

　いよいよワクチン接種の順番が私達にもくるようです。今、おばあちゃんが安心して過ごしているのを見て、私も受けることにしたのです。以前のように、授業で、学校で、家で大きな声で話したり、笑うことができる日々が戻ってくることを信じて……。